

主直日誌

4月 21日(土) 天候 bc

主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】

- ・ 入港作業、神戸港震災メモリアルパーク、川崎重工博物館

【感想(一日を振り返り、勉強になったことや感じたこと)】

今日は、神戸港に入港しポートタワーの前(中突堤 D 岸壁)に着岸しました。私にとって初めての入港作業でした。私の配置は船尾で、係留索の先に付けるヒービングラインを岸壁に投げるという大役を任せられました。緊張のあまり、ロープを絡ませてしまい、ヒービングラインが岸壁に届かず、失敗してしまいました。距離に応じて力加減やロープの長さを調節することがとても重要だと思いました。また、投げたときにスムーズにロープが出てゆくようにコイルを綺麗に巻いておくことも重要です。次航からは私たちだけで作業を行わなければならないので、残り少ない航海で、率先して作業に取り組み、わからないことがあったら先輩や船員さんに聞き、着実に作業をできるようにしたいです。作業は素早く、丁寧に行い、万一のミスの原因をなくすように取り組むことが大切であると思います。

寄港地研修では神戸港震災メモリアルパークへ行きました。そこでは、阪神淡路大震災で破損した岸壁が当時のまま残っており、それを見ていると、地震の恐ろしさ、破壊力の強さが伝わってくるとともに、いつくるか分からない東海地震に対する防災への意識も高めたいと思いました。震災メモリアルパークの後には川崎重工博物館へ行きました。昔の木造船から最近の船まで様々な模型がありました。船のほかにもバイクや新幹線、飛行機などもあり、特に機関について勉強している私には それらのエンジンの展示は非常に興味を掻きたてるもので、ついつい説明に見入ってしまいました。とても勉強になったと思います。

24日まで、神戸にいます。主体性を持って神戸での研修に取り組んで行こうと思っています。



朝9時、神戸港へ入港しました



阪神淡路大震災の犠牲者のために、メリケン波止場で黙とうを捧げました